

貸切バス・高速バス全車両へのAED導入について

日立電鉄交通サービス株式会社（本社：日立市幸町三丁目4番6号、取締役社長：土屋静治）では、この度、貸切バス・高速バスの全車両にAED（自動体外式除細動器）を設置いたしましたのでお知らせいたします。

記

AED（自動体外式除細動器）の貸切バス・高速バスの全車両導入

(1) 設置理由

貸切バスや高速バスは、地域内を走る路線バスに比べ、長旅の疲労による心臓発作や、高速道路上での救急車到着に時間を要するリスクが高いことから、お客様の緊急事態に即応できる体制を整えるため2013年10月より順次設置を開始し、このたび完了しました。

お客様に信頼される環境を整備することは公共交通事業者の使命であり、「安全・安心・快適」なサービスを提供するという弊社の企業理念から、貸切バス・高速バスの全車両にAEDを設置しました。尚、導入にあたり、一般社団法人茨城県バス協会より助成金を受けております。

(2) 設置台数 46台（貸切バス26台、高速バス20台）

※貸切バス・高速バスの全車両に導入したのは茨城県内で初となります。

(3) 救命講習の受講

導入と共に、貸切バス・高速バス運転士、バスガイドの全員(84名)が、心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ「普通救命講習」を修了しております。



【AED搭載を示すステッカー(バス乗降口)】



【実際に設置されているAED】

(参考)

貸切バス事業者安全性評価認定制度の「三ツ星」取得

貸切バスの安全性や安全確保に向けた取り組みが評価され、公益社団法人日本バス協会が認定する「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の最高位である「三ツ星」の認定を取得しました。

《2015年度認定事業者(2015年11月4日現在)》

項目	バス事業者	うちバス協会加盟	うち認定事業者	うち三ツ星認定
全国	6,527社	2,260社	775社	180社
茨城県内	274社	98社	21社	4社



【参照URL】 <http://www.bus.or.jp/safety/about.html>

以上